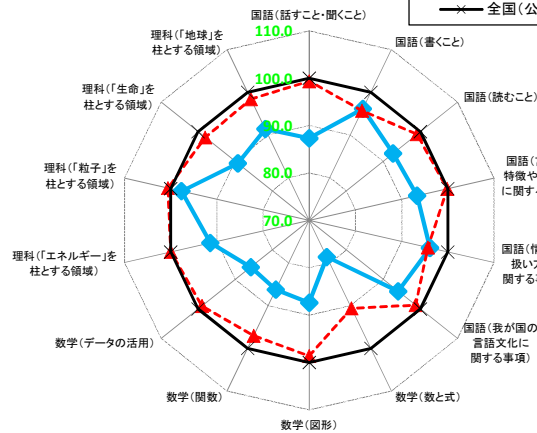
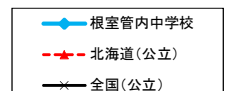
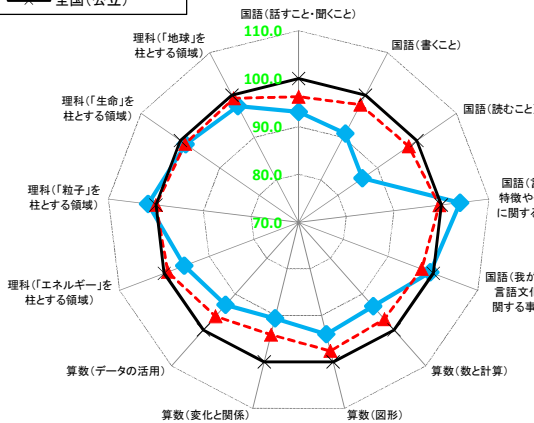
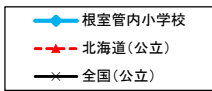


■根室管内の状況及び学力向上策（小学校数：24校、児童数：452人）（中学校数：20校、生徒数：539人）

小学校【教科全体の状況】

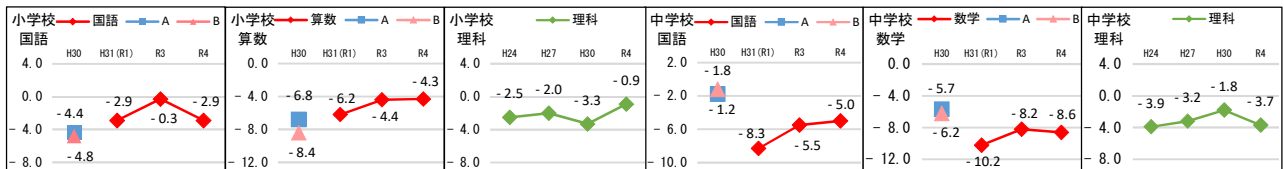
平均正答率	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
根室管内	63[62.7]	59[58.9]	62[62.4]	64[64.0]	43[42.8]	46[45.6]
全国	66[65.6]	63[63.2]	63[63.3]	69[69.0]	51[51.4]	49[49.3]

中学校



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

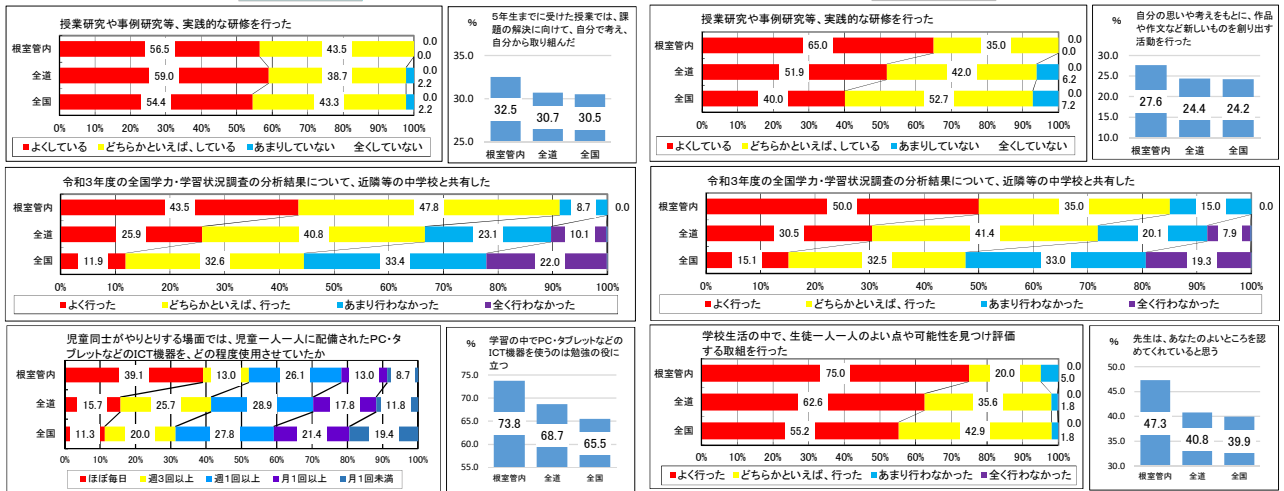
【平均正答率の推移】「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化



【質問紙の状況】

小学校

中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

各学校において、各種研修会等で、令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と共有するとともに、授業研究や事例研究等、実践的な研修を行ったことにより、5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだと回答した児童の割合が、全道及び全国を上回ったと考えられる。

各学校において、児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させたことにより、学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと回答した児童の割合が、全道及び全国を上回ったと考えられる。

中学校

各学校において、各種研修会等で、令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と共有するとともに、授業研究や事例研究等、実践的な研修を行ったことにより、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行ったと回答した生徒の割合が、全道及び全国を上回ったと考えられる。

各学校において、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組を行ったことにより、先生は、あなたのよいところを認めてくれていると回答した生徒の割合が、全道及び全国を上回ったと考えられる。

【根室管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

根室管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立

- 各学校において、検証改善サイクルの確立に向けた取組の質の向上を図る必要がある。
- 各種調査結果を踏まえ、組織体制を整備するとともに、自校の課題を明確にし、課題解決を図る改善方策の在り方について指導助言する。
- 年間を見通して、組織的・継続的に一貫して取り組むとともに、取組を検証し、改善を図ることについて指導助言する。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- 育成する資質・能力を明らかにし、学習の広がりや深まりを生み出す授業改善を進める必要がある。
- 育成する資質・能力を明らかにし、単元や題材のまとまりを見通した指導計画の在り方について指導助言する。
- 各教科の特質を踏まえ、根拠を明確にして説明するなどの言語活動の在り方について指導助言する。

(3) 学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域の連携協働

- 中学校区で課題や改善方策を共有し、家庭・地域と連携協働した取組を推進し、学校間連携の充実や生活習慣・学習習慣を確立する必要がある。
- 中学校区や近隣の学校間で「目指す子ども像」を共有し、連携・一貫した取組の在り方について指導助言する。
- 学校・家庭・地域と連携協働した生活習慣・学習習慣の確立に向けた取組の在り方について指導助言する。

2. 具体的な取組

月	(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立	(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	(3)学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域の連携協働
8	学校教育指導訪問（計画・要請・集中・リモート訪問）	学校教育指導訪問（計画・要請・集中・リモート訪問） ミドルリーダーによる授業への支援	学校教育指導訪問（計画・要請・集中・リモート訪問） 「根室教育局『親学』UP!プロジェクト」 市町独自事業への支援
9	学力向上推進協議会（ミドルリーダーによる取組の検証及び改善方策の検討）		
	第2回義務教育担当者会議（市町教育委員会指導主幹等との課題の共有及び改善方策の検討）		
10	管内教育推進の重点に係る評価① 管内教育推進の重点に係る好事例の普及	管内教育推進の重点に係る評価① 管内教育推進の重点に係る好事例の普及	管内教育推進の重点に係る評価① 管内教育推進の重点に係る好事例の普及
11			
12		算数・数学ブラッシュアップセミナー 校長会主催による授業アンケートの実施・検証	
1			
	第3回義務教育担当者会議（市町教育委員会指導主幹等との課題の共有及び改善方策の検討）		
2			
	第2回組織力強化会議（ミドルリーダーによる年間の検証及び次年度に向けた取組の構想）		
	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及
3			

3. 取組の評価

<p>(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</p> <p>①「自校の現状と課題を踏まえた検証改善サイクルの確立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…3.46、中…3.50 (4点中) ・目標 小…3.60、中…3.60 (4点中) ・達成値 10月・3月に評価 <p>②「学校全体で一貫した継続的な取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 新規項目のためデータなし ・目標 小…100%、中…100% ・達成値 10月・3月に評価 	<p>(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</p> <p>①「主体的・対話的で深い学びの実現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…3.63、中…3.35 (4点中) ・目標 小…3.70、中…3.60 (4点中) ・達成値 10月・3月に評価 <p>②「自らの学習を調整し、よりよい学びを生み出す授業改善の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 新規項目のためデータなし ・目標 小…90.0%、中…90.0% ・達成値 10月・3月に評価 	<p>(3)学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域の連携協働</p> <p>①「異校種との連携を図る教育活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…66.7%、中…80.0% ・目標 小…82.0%、中…82.0% ・達成値 10月・3月に評価 <p>②「学校・家庭・地域の連携協働による生活習慣・学習習慣の確立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…3.04、中…2.80 (4点中) ・目標 小…3.30、中…3.30 (4点中) ・達成値 10月・3月に評価
---	--	--

4. 改善点

<p>(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> □「学力向上推進協議会」及び「第2回組織力強化会議」において、検証改善サイクルの確立に向けた取組の成果を普及するとともに、自校の取組の見直し・改善方策を検討し、自校の取組の質の向上を図る。 □「義務教育担当者会議」において、各学校の取組の成果と課題を明確にするとともに、課題解決に向けた方策を協議し、指導助言の充実を図る。 	<p>(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> □「授業づくりの基本」研修及び「算数・数学ブラッシュアップセミナー」等の各種研修会において、調査結果を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の在り方を周知、改善を図る。 □学校教育指導訪問において、各学校が目的意識を高め、授業改善が図られるよう「学校訪問マネジメントシート」を活用した指導助言の充実を図る。 	<p>(3)学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域の連携協働</p> <ul style="list-style-type: none"> □「学力向上推進協議会」及び「第2回組織力強化会議」において、各学校が中学校区で課題や改善方策を協議する場を設定するなどして、各中学校区の連携・一貫した取組の充実を図る。 □管内の生活習慣及び学習習慣の確立に向けた取組の成果を普及し、各学校の取組の見直し・改善など、質の向上に向けた取組を支援する。
--	--	---